

# 令和8年度 定期総会要項

期日 令和8年6月5日（金） 13：00～

会場 越谷市『越谷コミュニティセンター（小ホール）』



## 総 会 次 第

- 1 開会のことば ..... (13：00)
- 2 国歌斉唱
- 3 黙 禱
- 4 会長挨拶
- 5 長寿会員祝賀
- 6 栄誉会員顕彰
- 7 来賓祝辞
- 8 議長選出
- 9 議 事
  - (1) 令和7年度事業報告並びに決算について
  - (2) 役員改選について
  - (3) 令和8年度事業計画案並びに予算案について
  - (4) 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進研究協議会について
  - (5) 宣言・決議
  - (6) そ の 他
- 10 県歌斉唱
- 11 閉会のことば ..... (14：30)

## 埼玉県退職校長会

# 埼 玉 県 歌

岸上のおを 作詞  
神保光太郎 補作  
明本 京静 作曲

- |  |   |
|--|---|
| 1 秩父の雲の むらさきに<br>風もみどりの むさし野よ<br>恵み豊かな この山河<br>われら 生まれて ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉 | 3 日に日に進む 産業に<br>こぞるちからも たくましく<br>希望はもえる このあした<br>われら 明るく ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉 |
| 2 古き伝統 新しき<br>生命をこめて しあわせの<br>未来をひらく この文化<br>われら つどいて ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉   | 4 北に大利根 荒川は<br>南をめぐり 人和して<br>県旗はまがたま この理想<br>われら ちかかって ここにあり<br>おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉   |

---

## 埼 玉 県 の シ ン ボ ル

県の愛称「彩の国」「彩」は、いろどりや美しさを表す言葉で、四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、産業、文化、学術などさまざまな分野で発展する多彩な国、埼玉県を表現している。(平成4年11月14日選定)

### 県章



まが玉 16 個を円形に並べたもの。埼玉県名由来の一つとされる「幸魂（さきみたま）」の「魂」は、「玉」の意味でもあり、まが玉は、埼玉県にゆかりの深いものとなっている。また、まが玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表している。(昭和 39 年 9 月 1 日制定)

### 彩の国

#### キャンペーンマーク



#### 彩の国さいたま

愛称「彩の国」の一層の普及を図るため3人が手を取り、肩を組み合わせ、楽しく元気に前へ進もうとしているイメージを表現している。「夢がいっぱい＝ブルー」、「元気がいっぱい＝レッド」、「自然がいっぱい＝グリーン」を表している。(平成5年11月14日に選定)

### 埼玉県のマスコット

#### 「コバトン」&「さいたまっち」



「コバトン」は県の鳥であるシラコバトをモチーフに、2004年に埼玉県で開催された彩の国まごころ国体の大会マスコットとして登場した。「シラコバト」と「バトン」で「コバトン」。2005年1月4日より県のマスコットとなった。「さいたまっち」は「コバトン」誕生から15年目「コバトン」と共に埼玉県を盛り上げるキャラとして開発。(2014年11月14日に誕生)

そのほか、県の花「サクラソウ」・県の木「ケヤキ」・県民の鳥「シラコバト」・県の魚「ムサシトミヨ」・県の蝶「ミドリシジミ」

出典：埼玉県ホームページより

○ 講 演 会 ..... (14:40~16:00)

演 題 『地域とともに育む“挑戦する力”  
—越谷アルファーズが描く未来へのチャレンジ!』

講 師 上 原 和 人 氏  
(株式会社アルファーズ代表取締役社長)

## 来 賓 芳 名

埼玉県知事	大野元裕様
埼玉県議会副議長	吉良英敏様
埼玉県教育委員会教育長	石川 薫様
さいたま市教育委員会教育長	竹居秀子様
越谷市長	福田 晃様
越谷市教育委員会教育長	野口久男様
全国連合退職校長会会長	田中昭光様
埼玉県市町村教育委員会連合会会長	古谷広明様
埼玉県都市教育長協議会会長	柿沼光夫様
埼玉県町村教育長会会長	下村 治様
埼玉県教育局市町村支援部部長	岡島 満様
埼玉県教育局市町村支援部参事兼小中学校人事課長	阿部弘之様
埼玉県教育局東部教育事務所長	越 晃宏様
埼玉県公立小学校校長会会長	鈴木美幸様
埼玉県中学校長会会長	宮本典行様
埼玉県高等学校長協会会長	田中洋安様
顧 問	石田孝作様

# 慶 祝 叙 勲

(敬称略)

## 令和7年度高齢者叙勲 (37名)

令和7年4月1日～令和8年3月31日

大 宮 原田 光三	大 宮 浅香 敬	大 宮 河田 捷一
岩 槻 福原 健治	朝 霞 新井 哲夫	上 尾 岩波静二郎
鴻 巣 鈴木 清司	鴻 巣 富澤 博	川 越 浅井 重昭
川 越 川上 清	狭 山 新原 昇	所 沢 丹生 忠三
所 沢 田渕規矩夫	所 沢 大貫 芳雄	毛呂山 小峰 英二
坂 戸 安野 利代	鶴ヶ島 小林 光清	入間東部 上野 武男 (故)
東松山 新藤マスエ (故)	東松山 新藤 道典	東秩父 福島 征二
小鹿野 陽遊 和夫	深 谷 篠崎 忠雄	寄 居 加藤 勇
行 田 佐藤 武司	羽 生 尾城 和雄 (故)	羽 生 岡野 理助
春日部 望月 勲	越 谷 高梨 恍靖	久 喜 加村 智代
久 喜 中村 徳治	久 喜 大熊芙美江	八 潮 鈴木 貞夫
蓮 田 堀内 善仁	白 岡 秋山 和司	宮 代 高田 祐司
吉 川 高橋 寅彦		

## 令和7年度秋叙勲 (8名)

川 口 上原 一良	川 口 村上 博俊	川 口 新海今朝巳
深 谷 篠崎 正明	寄 居 鳥塚 富弥	行 田 鈴木トミ江
加 須 小沼 久義	春日部 角田 守	

## 令和8年度春叙勲 (9名)

与 野 浅見 茂男	大 宮 井上 馨	朝 霞 船津三樹男
所 沢 永井 博彦	坂 戸 鹿川 豊	越 生 新井 雄啓
秩 父 山口 榮子	深 谷 馬場 和久	羽 生 廣瀬 仁郎

(市町村等名称は班名)

# 令和7年度事業報告

## 活 動 の 重 点

- 1 組織活動の充実並びに会員の親睦と福祉の増進を図る。
- 2 教育行政機関・現職校長会及び教育諸団体との連携を密にし、県教育の振興に寄与する。
- 3 学校支援、社会奉仕活動に積極的に参加し、生涯学習活動の活性化に寄与する。
- 4 「彩の国教育の日」に関わる諸活動の充実について積極的に支援する。
- 5 「入会の案内」、「会報」、「ホームページ」等を活用してきめ細かな広報活動を展開し、定年退職校長の全員加入を目指した勧誘に努める。
- 6 本部と支部との連携をいっそう緊密にするとともに、専門部活動の充実に努める。

## 事 業 の 概 要

- 1 会 議
  - (1) 定期総会 1回 6月14日(土) 本庄市・グローバルソフトウェア本庄文化ホール  
講演会併催「治にいて乱を忘れず」-3,11から学んだこと・伝えたいこと 菅原貞芳氏
  - (2) 支部総会 5月 10支部 10会場
  - (3) 理事会 2回 10月・3月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (4) 支部長会 3回 5月・9月・2月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (5) 総会実施委員会 2回 5月 グローバルソフトウェア本庄文化ホール 12月 越谷市コミセン
  - (6) 監査会 1回 4月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (7) 幹事会 随時
- 2 専門部の活動
  - (1) 研究調査部会 2回 役職定年された方の「働き方の選択に関する実態調査」  
年金問題等の検討等
  - (2) 福利厚生部会 2回 退職校長会入会案内の作成・配布、新会員名簿の作成・配布  
囲碁大会(10/14) ゴルフ大会(10/21)
  - (3) 広報部会 2回 会報の企画・発行、配布(年3回)、ホームページの充実  
ニュースレターの発行(年1回)、全連退会報配布(年3回)
  - (4) 庶務会計部会 1回 会費納入、会員数の確認、経理上の情報交換等
- 3 要望書提出 9月 県知事・県議会議長・県教育委員会教育長宛、等
- 4 関ブロ茨城大会参加 10月16日・17日 水戸市「ホテルレイクビュー水戸」
- 5 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進研究協議会  
10支部 10月～11月(教育事務所・現職校長・会員等)
- 6 現・退校長会役員研究協議会 1回 現職小・中校長会役員との研究協議会(12/10)
- 7 長寿会員祝賀 随時 ◇上寿(百歳): 寿詞・記念品贈呈 該当誕生日  
2回 ◇米寿: 寿詞贈呈…春季・秋季理事会、会報に記載  
◇傘寿: 会報に記載
- 8 栄誉会員の顕彰 6月 定期総会時
- 9 物故会員弔慰 供……………香料・弔辞(令和7年度末までにご逝去された方、106名)

# 令和7年度 収入・支出決算報告

## ◇収入の部

令和8年3月31日現在 (単位 円、△印 減)

項 目	本年度予算額(A)	決算額 (B)	比較増減(B-A)	付 記
1 会 費	7,682,500	7,565,000	△ 117,500	2,500円×3,026人
2 雑 収 入	1,500	3,586	2,086	預金利息
3 繰 越 金	913,014	913,014	0	繰越金
計	8,597,014	8,481,600	△ 115,414	

## ◇支出の部

項 目	本年度予算額(A)	決算額 (B)	比較増減(B-A)	付 記
1 会 議 費	1,210,000	1,119,991	△ 90,009	
(1) 総 会 費	810,000	713,999	△ 96,001	代議員旅費、印刷費、諸費等
(2) その他の会議費	400,000	405,992	5,992	支部長会、理事会、専門部会等
2 事 務 費	894,000	764,505	△ 129,495	
(1) 通信・運搬費	400,000	272,044	△ 127,956	郵便料、会報送料等
(2) 印刷・消耗品費	290,000	288,461	△ 1,539	諸印刷、用紙、封筒等
(3) 事務手当	204,000	204,000	0	手当
3 事 業 費	2,761,900	2,723,813	△ 38,087	
(1) 会報発行費	900,000	828,002	△ 71,998	会報印刷代、ホームページ等
(2) 研 修 費	921,900	907,800	△ 14,100	300円×3,026人(支部研修補助)
(3) 教育推進費	120,000	105,000	△ 15,000	支部別推進 総会等
(4) 講演会費	130,000	129,479	△ 521	講師謝礼、看板等
(5) 旅 費	690,000	753,532	63,532	諸会議旅費、役員旅費等
4 負 担 金	1,479,200	1,436,800	△ 42,400	
(1) 全連退負担金	1,413,200	1,382,800	△ 30,400	400円×3,457人(含長寿会員)
(2) 関プロ負担金	66,000	54,000	△ 12,000	茨城県会場、3名参加
5 特別積立金	300,000	300,000	0	会員名簿等(特別会計へ)
6 慶 弔 費	1,200,000	1,071,981	△ 128,019	米寿(寿詞)、香典
7 関プロ大会準備	300,000	300,000	0	関プロ埼玉大会準備積立
8 事務局使用料	264,000	264,000	0	1か月22,000円 R7年4月~R8年3月
9 予 備 費	187,914	0	△ 187,914	
計	8,597,014	7,981,090	△ 615,924	

◇差引残高 8,481,600円(実収入) - 7,981,090円(実支出) = 500,510円(次年度繰越金)

## ◎特別積立金現在高

積 立 高		支 出 高	
前年度末現在高	1,507,859	退任役員記念品代	315,000
利 息	2,409		
本年度積立金	300,000		
関東ブロック積立金	300,000		
計	2,110,268	計	315,000

◇差引現在高 2,110,268円 - 315,000円 = 1,795,268円

上記の通り報告します。

令和8年3月31日

埼玉県退職校長会会長

新 井 俊 一

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

令和8年4月6日

監 事 下 山 彰 夫  
 監 事 小 島 浩 司  
 監 事 須 田 博

# 令和8年度事業計画（案）

## 活 動 の 重 点

- 1 組織活動の充実並びに会員の親睦と福祉の増進を図る。
- 2 教育行政機関・現職校長会及び教育諸団体との連携を密にし、県教育の振興に寄与する。
- 3 学校支援、社会奉仕活動に積極的に参加し、生涯学習活動の活性化に寄与する。
- 4 「彩の国教育の日」に関わる諸活動の充実について積極的に支援する。
- 5 「入会の案内」、「会報」、「ホームページ」等を活用してきめ細かな広報活動を展開し、役職定年退職校長等の加入を目指した会員勧誘に努める。
- 6 本部と支部との連携をいっそう緊密にするとともに、専門部活動の充実に努める。

## 事 業 の 概 要

- 1 会 議
  - (1) 定期総会 1回 6月5日（金） 「越谷コミュニティセンター」講演会併催
  - (2) 支部総会 5月 10支部 10会場
  - (3) 理事会 2回 10月・3月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (4) 支部長会 3回 5月・9月・2月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (5) 総会実施委員会 2回 5月 越谷コミュニティセンター 12月 会場未定
  - (6) 監査会 1回 4月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
  - (7) 幹事会 随 時
- 2 専門部の活動
  - (1) 研究調査部会 2回 役職定年された方の「働き方の選択に関する実態調査」  
年金問題等の検討 等
  - (2) 福利厚生部会 2回 退職校長会入会案内の作成・配布、新会員名簿の作成・配布  
囲碁大会（10月予定）・ゴルフ大会（10/20）開催
  - (3) 広報部会 2回 会報の企画・発行、配布（年3回）、ホームページの充実  
ニュースレターの発行（年1回）、全連退会報配布（年3回）
  - (4) 庶務会計部会 1回 会費納入、会員数の確認、経理上の情報交換等
- 3 要望書提出 9月 県知事・県議会議長・県教育委員会教育長宛、等
- 4 関ブロ群馬大会参加 10月22日・23日 前橋市「ホテルラシーネ新前橋」
- 5 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進研究協議会  
10支部 10月～11月 教育事務所・現職校長・会員 等
- 6 現・退校長会役員研究協議会 1回 12月 現職小・中校長会役員との研究協議会
- 7 長寿会員祝賀 随 時 ◇上寿（百歳）：寿詞記念品贈呈 該当誕生日  
2回 ◇米寿：寿詞贈呈…春季・秋季理事会、会報に記載  
◇傘寿：会報に記載
- 8 栄誉会員の顕彰 6月 定期総会時
- 9 物故会員弔慰 供……………香料・弔辞

## 令和8年度 収入・支出予算書 (案)

### ◇収入の部

(単位 円、△印 減)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A - B)	付 記
1 会 費	7,500,000	7,682,500	△ 182,500	2,500円×3,000人
2 雑 収 入	2,500	1,500	1,000	預金利息
3 繰 越 金	500,510	913,014	△ 412,504	繰越金
計	8,003,010	8,597,014	△ 594,004	

### ◇支出の部

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A - B)	付 記
1 会 議 費	1,000,000	1,210,000	△ 210,000	
(1) 総 会 費	600,000	810,000	△ 210,000	代議員旅費、印刷費、諸費等
(2) その他の会議費	400,000	400,000	0	支部長会、理事会、専門部会等
2 事 務 費	714,000	894,000	△ 180,000	
(1) 通信・運搬費	250,000	400,000	△ 150,000	郵便料、会報送料等
(2) 印刷・消耗品費	260,000	290,000	△ 30,000	諸印刷、用紙、封筒等
(3) 事務手当	204,000	204,000	0	手当
3 事 業 費	2,625,000	2,761,900	△ 136,900	
(1) 会報発行費	820,000	900,000	△ 80,000	会報印刷代、ホームページ等
(2) 研 修 費	900,000	921,900	△ 21,900	300円×3,000人支部研修補助
(3) 教育推進費	105,000	120,000	△ 15,000	支部別推進・女性退職校長会・総会等
(4) 講演会費	130,000	130,000	0	講師謝礼、看板等
(5) 旅 費	670,000	690,000	△ 20,000	諸会議旅費、役員旅費等
4 負 担 金	1,440,000	1,479,200	△ 39,200	
(1) 全連退負担金	1,380,000	1,413,200	△ 33,200	400円×3,450人 (長寿会員含む)
(2) 関プロ負担金	60,000	66,000	△ 6,000	令和8年度は群馬県開催予定
5 特 別 積 立 金	300,000	300,000	0	新会員名簿等 (特別会計へ)
6 慶 弔 費	1,200,000	1,200,000	0	米寿 (寿詞)、香典
7 関プロ大会準備	300,000	300,000	0	関プロ埼玉大会準備積立
8 事務局使用料	264,000	264,000	0	1か月22,000円 (R8年4月～R9年3月)
9 予 備 費	160,010	187,914	△ 27,904	
計	8,003,010	8,597,014	△ 594,004	

# 令和8年度 役員名簿（案）

（令和8年6月5日現在）

顧問	石田 孝作
会長	新井 俊一
副会長	高取 廣美（福） 新海今朝巳（研） 吉武 覚（広） 笠原 幸夫（研） 富田 政博（広） 金 朝子（福・女） 稲葉 昭一
監事	下山 彰夫 須田 博 石塚 初代
支部〈理事数〉	◎支部長
さいたま市〈8〉	◎高取 廣美 星野 貞邦（研） 秋元千代子（福） 佐藤 薫（広） 秋山 正光（庶） 並木 昌和 松下 道夫 渡邊 正道
北足立南〈12〉	◎新海今朝巳 中村 文夫（研） 佐藤 誠造（福） 前田 一男（広） 小濱 治人（庶） 原田 明 小林 博武 高田信一郎 加藤 正明 高木 宏幸 小川 廣徳 柿崎 勲
北足立北〈6〉	◎平賀 健郎 山下 文孝（研） 大塚 明（福） 堀越 洋子（広・HP） 石塚富美江（庶） 奈良 高男
入間〈18〉	◎吉武 覚 廣澤 和夫（研） 松井 正樹（福） 羽田 禮子（庶） 須ヶ間 章 飯島 晴美 牧 憲昭 鈴木 良明 小見山 実 佐藤 信弘 野口 忠 吉澤 丈巳 栗田 博 井上 耀基 斎藤 薫 西澤 泰男 島崎 利雄 山田 幸次
比企〈6〉	◎沖田 達雄 久保田秀至 長嶋 和義（広・HP） 塚本久美子（庶・会） 小暮 晴彦（福） 船橋 勇（研）
秩父〈5〉	◎前堅 進一 坂本 雅夫（研） 村田 博美（福） 田嶋 昌司（広・HP） 根岸 力（庶）
児玉〈5〉	◎久保島康正 深澤 茂実（研） 堀越由喜子（福） 山本 司子（広・HP） 濱名 博昭（庶）
大里〈9〉	◎神谷 為義 持田 和佳（研） 室岡 寛昭（福） 福島 裕（広・HP） 丹羽 大恭（庶） 神田 昌文 小林 正俊 猪野 和幸 細野 茂子（広・女）
北埼玉〈7〉	◎武正 和巳 田村 隆信 角屋 房男 小林 澄江（広・HP） 小川三代子 水野 義夫（庶） 斎藤きよみ（研・女）
埼玉葛〈11〉	◎橋本 久雄 桜井 義幸（研） 角田 守（福） 中根 政美（広・HP） 田村 俊一（庶） 大塚 和彦 山口 竹美 増田 晴一 綱河 信一 鈴木 勉 栗田 誠
事務局	事務局長 稲葉 昭一 幹事 野本キミ子 川野 勉 羽島 隆夫 山崎 俊 鈴木 光二 本多 英夫 眞嶋 廣久 福田由美子 萩田 哲男 加藤 美幸 上原 善一 秋元 敏行

※（研）：研究調査部（福）：福利厚生部（広）：広報部（庶）：庶務会計部（HP）：ホームページ  
（女）：女性退職校長会推薦

# 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長会支部別教育推進研究協議会

令和7年度

支 部	期 日 時 間	会 場	参加者数				研究発表主題 (○現職校長の発表 ●退職校長の発表)
			来賓	現職	退職	合計	
さいたま市	11/21(金) 14:30～ 17:10	市民会館 おおみや (レイボック ホール)	3	46	46	95	○小学校 「学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりと学校経営」 ○中学校 「小・中学校及び家庭・地域との連携」 ●「南三陸町訪問支援と子ども食堂の開設」
北足立南部	11/19(水) 14:00～ 16:30	川口市立 並木公民館	5	41	35	81	○小学校 「様々な危機への対応と未然防止の対応づくり」～いじめ・不登校への適切な対応と体制づくり～ ○中学校 「生き生きと輝く対話を生み出す道徳教育」～「本質的な問い」のある授業を通して～ ●「学校経営アドバイザーから見た令和の学校教育」～『未来の当たり前』を共創する～
北足立北部	10/31(金) 13:35～ 16:15	クレアこう のす	3	27	31	61	○小学校 「学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくり」 ○中学校 「学校応援団との連携・協働」 ●「幼稚園側から見た幼・小連携の成果と課題」
入 間	11/12(水) 14:00～ 16:30	ふじみ野ス テラ・ウエ スト	4	66	73	143	○小学校 「つながる力 ひろがる夢 あたたかな地域・学校協働活動」 ○中学校 「誰もが居心地の良い学校目指して」～子どもも大人もウェルビーイングな学校づくり～ ●「馬」
比 企	11/19(水) 14:00～ 16:30	東松山市 松山市民活 動センター	3	25	36	64	○小学校 「魅力ある学校づくりの創造」 ● ①六弦の楽しみと仲間 ②インドネシア残留元日本兵と子孫の記録
秩 父	11/ 5(水) 14:00～ 16:40	皆野町 文化会館	3	24	20	47	○中学校 「高篠中学校の課題克服への道(学力向上)」 ●「SCから見た不登校支援の現状と課題」
見 玉	11/27(木) 15:00～ 17:15	グローバル ソフトウェア 本庄文化 ホール	2	27	46	75	○小学校 「みんなで育てる、みんなが育つ、学校・家庭・地域の協働」～「あいさつと笑顔が日本一」の旭っ子の育成～ ●「今を生きる」
大 里	11/11(火) 14:00～ 16:40	深谷市花園 文化会館	4	61	41	106	○小学校 「笑顔でいっぱい为学校づくり」 ●「貢献寿命を延ばそう～地域とのつながりを通して～」
北 埼 玉	10/29(水) 15:00～ 16:30	羽生勤労者 総合福祉セ ンター	2	43	45	90	○小学校 「校長2年目の学校経営」～不登校対策と学校環境緑化～ ●「宝蔵寺沼ムジナモ自生地復活のキセキ」
埼 葛	11/15(土) 10:00～ 11:58	蓮田市総合 文化会館ハ ストピア	9	72	50	131	○小学校 SDGs推進教育「持続可能な社会の創り手としての必要な資質能力の育成」～未来創造型PBL★1stステージ「知る・考える・行動する」～ ○中学校 「蓮田市の中学校における進路・キャリア教育とSDGsに係る取組について」 ●「退任後を楽しく有意義に」～小学生バンドの育成、一隅を照らす地域貢献～
合 計			38	432	423	893	

# 埼玉県退職校長会会則

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は、埼玉県退職校長会と称し、事務所を会長指定の場所に置く。
- 第2条 本会は、県内退職校長の親睦と福祉の増進をはかるとともに、教育尊重の実をあげ、埼玉県教育の振興に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 時勢の進運にともなう、会員相互の研修をはかるとともに、福祉の増進につとめる。
  - 2 現職教育との連絡を密にする。
  - 3 中正健全な教育世論を喚起し、教育の充実伸展をはかる。
  - 4 社会教育の振興につとめ、とくに国民道義の高揚をはかる。
  - 5 校外教育に協力し、青少年の育成指導に協力する。
  - 6 その他本会の目的達成に必要な事業

## 第2章 組 織

- 第4条 本会は、埼玉県内に在住する退職校長（幼稚園長を含む）の有志をもって組織する。ただし、県内公立学校の退職校長は、県外に在住するものであっても加入することができる。
- 第5条 地域別に10の支部を置く。
- 第6条 本会の事業を行うために、研究調査・福利厚生・広報・庶務会計の専門部を置く。

## 第3章 役 員

- 第7条 本会に次の役員をおく。
- |       |     |
|-------|-----|
| 会 長   | 1名  |
| 副 会 長 | 若干名 |
| 支 部 長 | 10名 |
| 理 事   | 若干名 |
| 監 事   | 3名  |
| 事務局長  | 1名  |
| 幹 事   | 若干名 |
- 第8条 会長、副会長、監事は総会において会員の中から選出する。  
事務局長・幹事は会長が委嘱する。  
支部長・理事は支部別に会員の中から選出する。  
支部長・専門部員は理事とする。
- 第9条 会長は本会を代表し、会の責任を負う。  
副会長は会長を補佐し、会長事故あるときその職務を代行する。
- 第10条 理事は理事会を組織し、総会から委任された事項、その他会務の執行にあたる。  
監事は会務並びに会計を監査する。

事務局長、幹事は事務を処理する。

- 第11条 役員は任期は2ヵ年とする。ただし再任することができる。  
補欠役員は任期は残任期間とする。  
役員は任期満了しても、後任者が決定するまでは、その職務を行わなければならない。
- 第12条 本会に顧問・参与をおくことができる。  
顧問・参与は理事会の議を経て会長が委嘱する。

## 第4章 会 議

- 第13条 総会は、年1回会長が招集する。必要により、臨時総会を開くことができる。  
総会は、代議員を以って構成する。代議員は、支部毎に会員25名につき1名とし、その計算端数は切り上げる。支部長は別に出席する。
- 第14条 緊急の場合、理事会を以って総会に替えることができる。その決議は次の総会のとき報告する。
- 第15条 理事会は、会長がこれを招集し、その議長となる。

## 第5章 慶 弔

- 第16条 会員の慶弔については別に定める。

## 第6章 会 計

- 第17条 本会の経費は、会費その他の収入で支弁する。
- 第18条 会費は年額2,500円とし、毎年5月末までに納める。ただし、満88歳以上の会員の会費は、免除とする。
- 第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 付 則

本会則は、昭和40年3月28日より施行する。

(中略)

- ※ 平成8年6月14日一部改正（参与）
- ※ 平成14年6月7日一部改正（さいたま市支部）平成15年4月1日より施行する。
- ※ 平成25年3月27日一部改正（会費）平成25年4月1日より施行する。
- ※ 平成25年10月29日一部改正（専門部・代議員）平成26年4月1日より施行する。
- ※ 令和2年4月1日一部改正（代議員）令和3年4月1日より施行する。
- ※ 令和8年3月31日一部改正（代議員）令和8年4月1日より施行する。

# 宣 言 ・ 決 議 (案)

## 宣 言

埼玉県退職校長会は、埼玉教育の振興に寄与するとともに、会員の親睦と福祉の増進を図ることを目的として昭和40年に結成され、以来、組織の充実・強化を図りながら目的達成への努力を重ねてきた。

今日、超スマート社会へ歩みを進める我が国は、少子高齢化と生産年齢人口の減少傾向が続いている。さらに、グローバル化の進展及びICT環境、AI、IoT等情報化への絶え間ない技術革新により、社会構造や雇用環境、人々の価値観や生活様式も多様化している。

このような時代にあって、児童生徒には今後とも「主体的・対話的で深い学び」を通して「主体的・創造的に課題を発見する力や解決に導く力」「多様性を受容し他者との意思疎通を図るコミュニケーション力」「ICTの活用能力」等々、未来をたくましく生きていくことのできる資質・能力を育むことが求められている。

我々会員は、深刻な教員不足の影響や次期学習指導要領の趣旨や方向性など、教育の現状と会員の福祉にかかわる諸課題を正しく見据え、教育行政機関及び教育諸団体との連携を強化し、日本国の発展に尽くす人材の育成を目指した教育の進展に努める必要がある。さらに、急激な政治・経済・社会の変動に伴う年金制度改革や高齢者医療・介護保険制度・定年延長をめぐる動向等を注視し、会員の福祉の増進に努める決意を新たにするものである。

総会にあたり下記事項を決議し、その実現に努めることを宣言する。

## 決 議

- 1 教育尊重の機運をよりいっそう高めるため、「彩の国教育の日」の取組を積極的に支援するとともに、全国組織と連携し、国民の祝日「教育の日」制定の活動を推進する。
- 1 生涯学習活動の振興と学校安全等に関わる教育支援の充実に努め、埼玉教育の活性化に寄与する。
- 1 会員の生活基盤である年金制度の充実を関係機関に要望する。
- 1 会員が豊かな生きがいをもって学び続け、充実した生活を実現できるよう福祉の増進に努める。
- 1 組織の充実・強化・発展に努め、活動の活性化を図る。

令和8年6月5日

第62回 埼玉県退職校長会定期総会